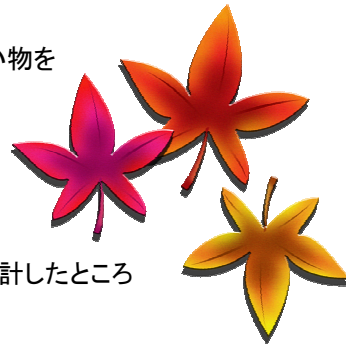


# SIMCO 通信

平成29年10月19日第79号 発行(担当: 営業グループ神谷・製造第1グループ山村)

10月に入って秋も深まり、寒暖の差も大きくなってきました。  
キンモクセイのオレンジ色の花が目映り、少しずつ周りの樹々も色づき、北海道では紅葉もピークを迎えているそうです。  
インフルエンザの予防接種も既に始まっているようで、風邪をひかないように、秋の季節、美味しい物をしっかり食べて、今年の残りの日々を頑張りましょう。



## 全国労働衛生週間に向けての標語

全国で行われている「労働衛生週間」がやってまいりました。当社では恒例の標語を各自考え、集計したところ39作品が集まりました。優秀作品、佳作を紹介します。

優秀作品 3K職場と言わせない みんなの熱意が会社を変える (志賀)

佳作 ストレスは 抱え込まずに まず相談 (渡邊)

佳作 作業環境整えて 良い物作ろう 島崎熱処理 (須田)

佳作 笑顔で仕事 明るい職場 この会社は右肩上がり (神谷)

以上の4作品が受賞をいたしました。(パチパチパチ)

審査の上、優秀作品を受賞した志賀八千代さんにコメントをもらいました。

「現場での作業のキツさは事務所で仕事をしている人にはなかなか伝わりません。一度や二度の提案では実現しないかもしれませんが、何度も繰り返し現状を訴えることで会社も変わっていけないのではないかと、愚痴ばかりこぼしている自分自身に向けて作った標語でもあります。ありがとうございました」

コメントありがとうございます。他の人の意見を聞いて気付かされることが多々あります。意識していけば自分も少しは変わるかな(笑) 志賀さん受賞おめでとうございます。

## 今期第3回クリーンデー

10月9日(月)にクリーンデーが行われました。「通常清掃作業がなかなか難しい場所を一気に掃除しましょう」という日です。ほんの一例ですが、どれだけスッキリしたか一目瞭然です。

(before)



(after)



上記の写真は以前から「汚い、暗い」と気になったところで、清掃とペンキ塗りに汗をかきかき、がんばっていました。工場前広場も再度のペンキ塗りと表示で、広場での荷下ろし場所が明確化しました。通常作業と異なり、だいぶ従業員の皆さんはお疲れでしたが、5Sをしっかりさせて、ケガが少しでも減らせるように、会社改善を行っていきましょう。

(表面担当: 神谷)

## 日本大学生産工学部 ～特別講義～

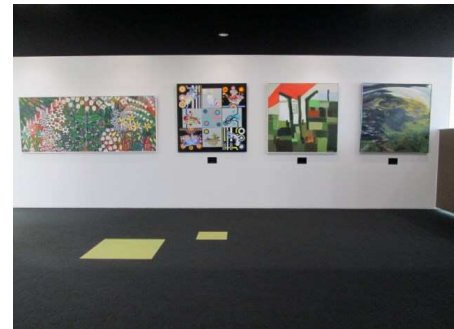
10月5日に日本大学生産工学部・応用分子化学科において、生産工学特別講義が行われました。その非常勤講師として、当社の社長自らが教壇に立ち、学生相手に講義を行いました。

まずは、我が社の紹介から始まり、金属の特性、鉄の生い立ち、そして様々な熱処理技術に至るまで、非常に幅広く、そして濃い内容となっていました。

限られた90分の時間の中で、知識の浅い学生に理解させるのはなかなか難しいことだと思います。

私も毎年夏にくるインターンシップの学生に対して、短い時間の中で熱処理や会社の事を知ってもらおうと努力していきたいと思っています。

一般の人は入れない場所にある  
日大芸術学部の学生さんの作品です。



特別講義の様子



## 今月の一冊 ～ ディズニーの魔法～

いきなりですが貴方は魔法を信じますか？

今月私が紹介するのは『ディズニーの魔法』という本です。

私はディズニーの世界が好きで、年に一度は舞浜まで足を運んでいます。

映画の方もほぼ全作品を見るほどにディズニー愛があります。

そんな中会社の後輩からは是非読んで下さいと渡されたのが、この一冊です。

この本の中には、皆さんが一度は耳にしたことのある様な作品が6つほど紹介されています。

ただ注意して頂きたいのは、これは貴方が思っているようなお話ではないということです。

ディズニーの話が『グリム童話』からインスパイアされているのは有名ですが

グリム童話に記されている話をご存知でしょうか？

時に残酷で目を背けたくなるような文章が、そこには記されています。

私も、今までの固定観念を崩したくなく、読もうかずっと悩んでいましたが、

一度ページを開いてしまうと止まらなくなり、一日で読み終えてしまいました。

グリム童話とディズニー……どこが違うのかは、あなた自身の目で確かめて下さい。

私は、いつの間にか『ウォルトディズニー』の魔法にかけられていたみたいです。

きっとあなたも魔法にかけられていることでしょう。



### 〇編集後記〇

深緑であった葉は色落ち、色鮮やかな紅葉への季節へと時は過ぎていき

人の声で賑わっていた辺りの砂浜でも、聞こえるのは波の音だけ……

そんな季節の狭間に立つ皆さまは、今何を思うのでしょうか？

過去に縋るのか、未来を見つめるのか、あなたはどちらでしょうか？私はどちらなのでしょう？

つつい自問自答してしまいがちなこの季節。これは四季が訪れる日本特有の深みのある文化だと私は思います。

どうか他愛もない後書きであることをお許しください。

皆さまと体調を崩さないように、あと2カ月を過ごし、やがてくる2018年を迎えられる事を祈っております。

(裏面担当:山村)